allcinema

殺しのテクニック（1966）

TECHNICA DI UN OMICIDIO
PROFESSIONAL KILLER
THE HIRED KILLER

メディア 映画
ジャンル アクション　サスペンス　犯罪
製作国 イタリア
色彩 Color
時間 97分
初公開日 1966/07/02
公開情報 松竹映配

【解説】

引退を決意した殺し屋が、たった一人の肉親を殺された事からその復讐に立ち上がる。彼は、若い相棒と共に組織の裏切者抹殺のためにパリへ飛ぶのだが……。定石のストーリー展開と野暮ったい演出ーーだが、ひとりの殺し屋の意地と悲哀をリアルに描き上げた雰囲気は上出来だ。ビルの屋上で手際よく銃を組み立てサイトを確かめる冒頭のシーンに代表される、プロフェッショナルならではの描写。全編に流れるジャジーなスコアも悪くない。準主役級か傍役が多かったＲ・ウェッバーにとっても、この“孤高の殺し屋”は一世一代の名キャラクターとなった。これはマカロニＢ級アクションのひとつの到達点と言ってもいいだろう。この作品のヒットによって「続・殺しのテクニック／人間標的」「新・殺しのテクニック／次はお前だ！」などのタイトルを冠した作品が公開されたが、もちろんダイレクトな関係はない。

【クレジット】

監督	フランク・シャノン	Franc Shannon	
製作	Ｆ・Ｔ・ゲイ	F.T. Gay	
脚本	フランク・シャノン	Franc Shannon	
撮影	エリック・メンツァー	Eric Menczer	
編集	マリオ・セランドレイ	Mario Serandrei	
音楽	ロビー・ポイトヴァン	Robby Poitevin	
出演	ロバート・ウェッバー	Robert Webber	クリント・ハリス
	フランコ・ネロ	Franco Nero	トニー・ロー・ベロ
	ホセ・ルイス・デ・ヴィラロンガ	Jose Luis de Villalonga	ゴールドスタイン
	セク・リンダー	Cec Linder	ガステル
	ジャンヌ・ヴァレリー	Jeanne Valerie	マリー

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。　Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.